

交流通信

今月の姉妹・友好都市(7月)

昆山市 20日(木)~

『昆山市看護師研修事業』

友好都市・昆山市から、看護師2名が来訪します。看護技術と日本文化研修のため、9月29日(金)までの10週間、田原市に滞在します。

ジョージタウン市 ~25日(日)

『成章高校 スコット高校生受け入れ』

成章高校の姉妹校、ジョージタウン市のスコット高校から生徒5名が来日し、成章高校で日本語を学んでいます。25日(日)に帰国します。

設楽町 30日(日)

『五平餅教室 & 物産展』

毎年恒例！つぐ屋さんの五平餅教室と、山の幸いっぱいの設楽町物産展です。「あつまれ得するサマーフェア2006」の内容の一部として行います。(詳しくは4ページをご覧ください。)

このコーナーでは、国内外に3つずつある田原市の姉妹・友好都市の情報を届けます。

企画課 23局 3507



成章高校で日本語を学ぶスコット高校生の皆さん、勉強はもとよりさまざまな学校行事にも参加し、成章高校の皆さんと交流の輪を広げています。

姉妹・友好都市の概要は田原市ホームページで
http://www.city.tahara.aichi.jp/international-ex/ko_kusaikouryu-menu.htm

第15回 共に考え共に歩もう

男女共同参画社会へ

企画課 23局 3507

「シリーズ」
自分に合った仕事、選べますか？

性別にとらわれず自分の能力や個性に合った職業を選べることも、男女共同参画社会の実現に欠かせないことです。今回からはそれを実践し、活躍する方々をシリーズで紹介しています。第1回目は、保育士の小倉佑介さんです。

Q 保育士になろうと思つたきっかけは何ですか？

進路を決めるときに大人になつた自分の姿を思い描いてみたら、エプロンをして子どもたちに囲まれている姿が浮かびました。そのとき、自分の進む道は保育士だ」と思いました。

Q 以前は「保母さん」と呼ばれ、女性の仕事だという印象が強かつた保育士。実際になってみてどうですか？



小倉佑介さん／平成13年度、田原市初の男性保育士として採用され、現在神戸保育園で活躍中。園児が保育園に来たくなるよう心がけていると話す、笑顔の優しい保育士さんです。

ありがとうございました。小倉先生、これからもがんばってください。
ありがとうございます。

教えるのではなく、子どもに教えられることが多い仕事です。愛情を注いだ分だけ、子どもから返ります。子どもが好きで子どもを楽しませてあげたいと思う人なら誰でも大丈夫。男性サークルのようなものを作つて、相談し合えるくらいの保育士が増えるといいでですね。

男女という前に保育士という職業なので、女性の仕事という意識はありません。自分らしい保育の中に入りません。女性にしかできない部分があるだけ。女性にしかできないきめ細かい部分はあるかも知れませんが、子どもとダイナミックに、ときにはお兄ちゃんとして遊べるのは男性の特徴だと思います。